



「聴くことから始まる」

2025 年 8 月 31 日

にっぽんせいこうかい はちのへせい きょうかい
日本聖公会八戸聖ルカ教会

かんり ぼくし しきい こしやま てつや
管理牧師 司祭 ステパノ 越山 哲也

「神の声に、人々の声に、世界の声に耳を傾けよう
～となりびととなるために～」

2023年日本聖公会宣教協議会からの呼びかけ
に答えるために東北教区では今年は「聴くこと」を大
事にしようをテーマに「耳を傾けよう」キャンペーンを
展開中です。私自身もキャンペーンに応答すべく
日々どうだろうか振り返りながら少し思いを書かせ
て頂きます。

長女が通学している高校のプログラムの一つに姉
妹校との交流があります。交流の一環として8月22
日(金)～30日(土)までの間、中国(上海)からの高
校生を我が家で受け入れて一緒に過ごす機会が与
えられました。8月24日(日)には盛岡聖公会の主日
礼拝にも出席されました。

短い時間ではありましたが、一緒に宮古まで車で
出かけて遊覧船やさっぱ船に乗って青の洞窟を探
検する機会を得て私自身もとても楽しい良い時間
でした。日本の文化にも触れ、お寿司、ラーメン、お
好み焼き、盛岡名物「わんこそば」体験もしたよう
です。何よりも同世代の仲間たちと国籍を超えた交流
の時を過ごすことが出来たことは大きな糧になっ
ていくのだらうと思いました。

コミュニケーションは言葉や身振り手振りでとった
のですが、私は携帯の翻訳アプリを利用しながら会
話をしましたが、引っ込み事案でなかなか積極的に
話しかけられませんでした。長女も長男も最初は人
見知りしていましたが次第に打ち解けていったよう
です。「私は会話はまだそんなに出来ないけど何を
伝えようとしているかは理解できるかなー」と長女が
言ったのですが、心に残りました。ヒアリング、言葉
を覚える一歩はヒアリング、聴くことから始まること
を実感した瞬間でもありました。

以前、管区の青年委員会で韓国の青年たちと一緒
に過ごす機会が何度か与えられた時も日本語以外
の言語、ハングル語、英語が飛び交います。言葉が
通じない事によるストレスを感じながらもとにかく意
味が分からないなりに彼らの言葉に耳を傾けている
と不思議となんとなく意味が分かってくるのです。当
時青年委員会の委員長だった現在は大阪教区主教
に就任された小林聡主教が「言葉のシャワーを浴び
る」事を大切にされていました。小林主教も決して流
暢に英語やハングル語を話す方ではありませんがと
ても積極的にコミュニケーションを取られる方でし
た。

「言葉のシャワー」とは素敵な表現だなと思いま
せんか。考えてみますとまだ言葉を話せない赤ちゃん
がお父さんやお母さんの言葉を聴きながら言葉を覚
えていきます。幼稚園や子ども園でも園児たちが少
しずつ言葉を覚えていく様子を日々感じています。
「わたし」の世界は聴くことによって広がり、聴き続
けることによって関係性が豊かになっていくことは真
実だなと実感しています。主イエス様も出会った人
の言葉や心の思いにじっくりと耳を傾けてくださ
いました。私自身もいつも身近にいてくれる家族、そ
して日々出会う人の声を聴けるように心を整えたい
と思います。

